

# 打ち合わせ 会議録

標 題	令和6年度 第3回藤枝市地域公共交通会議 議事録		
年月日	令和6年12月16日	出席者	藤枝市地域公共交通会議分科会委員 委員出席17名（内代理出席1名）  事務局：地域交通課
時 間	午前10時00分から 午前11時30分まで		
場 所	藤枝市役所庁舎別棟		
作成者	大石 竜己 ㊟		
打 ち 合 せ 等 内 容			
1 開 会			
2 会長挨拶			
3 議 案			
■第1号議案	路線バス「葉梨線」のバス停型乗合タクシーへの転換の要望について		
■第2号議案	バス停型乗合タクシーの延伸計画について		
■第3号議案	バス停型乗合タクシーの延伸計画について		
■第4号議案	申出系統（事業者単独継続困難・市自主運行バス）への対応について		
事務局より関連する4議案を続けて概要説明			
<p>《市民公募・中野委員》</p> <p>①第1号議案について、収支の試算について、乗合タクシーの積算の根拠を教えてください。</p> <p>⇒（事務局）距離・時間で一便あたりのタクシー料金を計算し委託料を算定。それに想定する運行便数をかけて算出している。</p> <p>②庁内戦略会議について、会議内ではどの程度の内容を決定しているのか。</p> <p>⇒（事務局）市三役・企画・財政等で方針を決定する会議。今回とほぼ同様の資料で諮り、決議している。</p> <p>③運賃について、現行の路線バスより大人は高くなり、高校生以下は安くなるとのことだが、地域の高齢化に伴う路線改変という目的上、高齢者の金額が上がってしまうのはどのような考えからか。</p> <p>⇒（事務局）運賃については他路線との比較、バス路線との均衡を考慮し設定している。バス路線より多少高めの設定となる。沿線地域の方々とも協議の上今回の運賃としている。</p> <p>《しずてつジャストライン・市川委員》</p> <p>葉梨線について補足。かなり古くからある路線だが、モータリゼーションにより乗客数が減少している。補助金をもらい維持していたが、地元要望を尊重しモード転換を応援、退出する意向。今後もスムーズに転換が可能なよう市とも協力していく。</p> <p>《社会福祉協議会・小澤委員》</p> <p>葉梨線の停留所について、市でも予算をかけて整備している蓮華寺池公園への乗り入れを行ってもよいのでは。</p> <p>⇒（事務局）五十海線でも乗り入れており、地元の要望としても挙がってきていない。今後地元からの声を聞き検討していきたい。</p> <p>《岡部地区・朝比奈委員》</p> <p>①高校生の通学等の需要は賄いきれるのか。</p> <p>⇒（事務局）現状の葉梨線の利用者層を見ても数人であるためタクシーの増便の範囲内で対応可能だと見込んでいる。</p> <p>②平日のみの運行で支障ないということで地元と協議ができているのか。</p> <p>⇒（事務局）協議済み。現状の路線バス葉梨線についても平日のみ運行となっている。</p> <p>⇒異議なし、承認</p> <p>■第5号議案 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価について</p> <p>静岡県より事業評価の概要説明。運行主体（しずてつジャストライン、藤枝市）より事業評価結果を説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・しずてつジャストライン事業評価結果について</li> </ul> <p>藤枝相良線は運行回数が前年比減少している。1月のダイヤ改定により運行本数を削減したことが要因。</p> <p>藤枝吉永線 OD について、調査に基づき評価を行っており調査日によってブレがあるが、清流館高校の通学生徒が増加していることにより乗車人員が高い数値となり前年に比べ評価が良くなっている。</p> <p>⇒異議なし、承認</p>			
4 報告事項			

- (1) 令和6年度市自主運行バス等利用状況について
- (2) 令和6年度富士山静岡空港アクセスバス利用状況について
- (3) ふじえだまちなか居住機能向上共創プロジェクト進捗について
- (4) 藤枝市乗合タクシー利用者アンケート結果について
- (5) AIオンデマンド交通「ふじえだmobi」運行状況について
- (6) 令和6年度藤枝市地域公共交通会議分科会について
- (7) 令和6年度地域公共交通確保維持改善事業事業評価に関する第三者評価委員会への対応について

《志太交通・鈴木委員》

報告事項(5)について

①mobi 実施以前・以後の移動手段のデータを調べ、共有してほしい。

⇒(静岡鉄道株草谷氏) 乗客へのアンケートを開始したためその結果を運行事業者とも共有していきたいと考えている。

②実証実験開始以前から同様の要求をしているが、今から実施するとなると期間が短いと思う。有効なデータは取得できるのか。

⇒(事務局) アンケート期間は短くなってしまいが、アンケート結果や運行記録等を分析してなかで協力いただいている運行事業者をはじめとしたPF 参画事業者と協議を行っていく。

《市民公募・中野委員》

報告事項(2)観光部門と連携したアクセスバスの施策について、来年度の意向、金額規模は。

⇒(事務局) 観光部門との連携施策に関しては、観光事業終了直後のためまだ共有されていないが、来年度の年間実績の報告時に共有させていただければと思う。予算規模は200万円程度と聞いている。

《静岡運輸支局・増田委員》

報告事項(7)について

第三者評価委員会については中部運輸局が開催しており、フィーダー系統補助や地域間幹線補助を受けている自治体が、本会議の特別委員である南山大学・石川先生のような学識経験者より意見をいただくもの。

学識経験者の先生方はかなり多くの自治体とかかわっており

《社会福祉協議会・小澤委員》

報告事項(2)について

外国人観光客の取り込みも目的としているとのことだが、空港⇒藤枝駅の乗客の分析はしているのか。

⇒(事務局) 系統ごとの集計はしていないが、可能ではあるため、アンケート調査の結果と照らし合わせインバウンドの効果を分析したい。

報告事項(3)について

シェアサイクルの新規設置個所に丸七製茶があるが、駅から丸七製茶を目的地とした利用にとどまり、周辺の回遊性の向上にはつながらないのでは。

⇒(事務局) まだ設置して日が浅く、利用回数も少ないため今後の使われ方を観察し分析していく。

## 5 その他

## 6 閉 会

(以上)